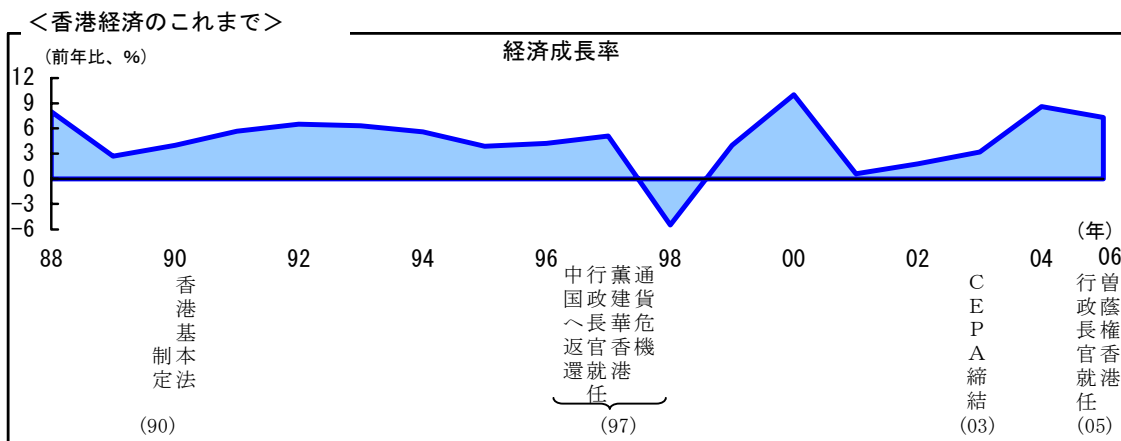


6 香 港

Hong Kong

<2006年>

人口	691.0万人 (東京都の約1/2)	財政会計年度	4月～3月
一人当たりGDP	27,471ドル	為替制度	カレンシー・ボード制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 0.1% 2次産業 8.6% 3次産業 91.3%	通貨	香港ドル 1米ドル=7.768香港ドル
		面積	1,101km ² (東京都の約1/2)



香港の主要経済指標

		96～05年		2006年			2007年			2008年			民間機関	
		政府	A D B	T	I M F	政府	A D B	T	I M F	政府	A D B	T		I M F
実質GDP	前年比%	3.4	6.8	6.0	6.0	5.7	—	5.4	4.8	実質GDP				
個人消費	同上	1.9	5.9	—	—	—	—	—	—	2007年				
総固定資本形成	同上	1.0	6.3	—	—	—	—	—	—	平均	5.6			
製造業生産	同上	▲ 3.9	2.2	—	—	—	—	—	—	最大	6.2			
消費者物価	同上	0.8	2.0	2.0	1.7	2.0	—	2.5	3.2	最小	5.1			
失業率	%	5.3	4.4	—	—	4.1	—	—	4.0					
経常収支	億米ドル	—	202.5	—	—	—	—	—	—	2008年				
	(GDP比)	—	(10.7)	—	(9.5)	(11.2)	—	(11.5)	(9.5)	平均	5.3			
財政収支	億米ドル	—	75.4	—	—	—	—	—	—	最大	7.1			
	(GDP比、年度)	—	(4.0)	—	—	—	—	—	—	最小	4.6			
政府債務残高	億米ドル	—	34.4	—	—	—	—	—	—					
	(GDP比、年度末)	—	(1.8)	—	—	—	—	—	—					(25社)

(備考) 1. 香港特別行政区政府統計局。政府見通しは2007年11月発表、A D Bは“Economic Development Outlook 2007 UPDATE”(2007年9月)、I M Fは“World Economic Outlook”(2007年10月)による。

2. 消費者物価は所得階層別に三種類発表されており、これらを統合してC P I総合が公表されている。表中ではC P I総合を採用しており、都市部家計数の90%をカバーしている。

<2007～08年の経済>

2007年前半は、個人消費が雇用・所得環境の改善等を背景に好調で、民間投資も機械設備投資等が増加したことから、内需を中心に景気は拡大し、1～3月期の経済成長率は前年同期比5.6%、4～6月期は同6.6%となった。一方、外需は、中国向けの輸出が堅調に増加したものの、好調な内需等を反映して輸入が大幅に増加したことから、純輸出の寄与は縮小した。また、7～9月期は同6.2%となり、07年通年の経済成長率は5%台後半～6%程度(政府見通し6.0%、民間機関25社の平均5.6%(07年10月時点))となる見込みである。

08年の経済成長率は5%程度(民間機関25社の平均5.3%)と見込まれる。良好な雇用・所得環境を背景とした個人消費の増加等が景気をけん引するとみられる。一方、下方リスクとしては、世界経済の減速による輸出の鈍化や国際金融資本市場のさらなる変動の香港金融市場への波及が挙げられる。